

令和3年度海洋環境保全上適正な海底下 CCS 実施確保のための総合検討事業委託業務
第2回 海底下 CCS 事業におけるモニタリング技術の適用方法のあり方に係る検討会

議 事 次 第

日時：2021年9月14日（火）14：00～16：00
場所：環境省会議室、KANSO テクノス会議室等
(Microsoft Teams による Web 会議形式)

議 事

開会（14：00）

1. 環境省挨拶
2. 議事
 - (1) 前回検討会議事録の確認
 - (2) 公表用資料（案）について
 - ・令和3年度苫小牧沖における春季調査結果（概要版、詳細版）
 - (3) 電磁探査技術の海底下モニタリングへの適用について
 - (4) 許可の変更申請に係る運用の見直しについて
 - (5) CO₂分離・回収技術について
3. 連絡事項

閉会（16：00 予定）

配布資料

- ・資料-1：令和3年度第1回海底下 CCS 事業におけるモニタリング技術の適用方法のあり方に係る検討会 議事録（案）
- ・資料-2(1)：【公表用資料】令和3年度苫小牧沖における春季調査結果について（詳細版）
- ・資料-2(2)：【公表用資料】令和3年度苫小牧沖における春季調査結果について（概要版）
 - ・参考資料 2-1：【公表用資料】令和3年度苫小牧沖における春季調査結果について（図表集）
- ・資料-3：電磁探査技術の海底下モニタリングへの適用について
- ・資料-4：許可の変更申請に係る運用の見直し
 - ・参考資料 4-1：特定二酸化炭素ガスの海底下廃棄の許可の申請に係る指針（案）
- ・資料-5(1)：諸外国における CO₂分離・回収技術について
- ・資料-5(2)：国内における化学吸収法（アミン法）の事例について
- ・資料-5(3)：国内の CO₂分離回収設備例
- ・資料-5(4)：海外における CCS 事業の規制について

以上

令和3年度海洋環境保全上適正な海底下 CCS 実施確保のための総合検討事業委託業務
第2回 海底下 CCS 事業におけるモニタリング技術の適用方法のあり方に係る検討会

出席者名簿

日時：2021年9月14日（火）14：00～16：00

場所：環境省会議室、KANSO テクノス会議室等

(Microsoft Teams による Web 会議)

検討委員（五十音順、敬称略）	
赤井 誠	産業技術総合研究所 名誉リサーチャー
尾崎 雅彦	東京大学名誉教授
(欠)海江田 秀志	電力中央研究所 地球工学研究所 首席研究員
(欠)小山 次朗	鹿児島大学名誉教授
佐藤 徹	東京大学 大学院新領域創成科学研究科 教授
下島 公紀	東京海洋大学 学術研究院 教授
白山 義久	京都大学名誉教授
鈴木 昌弘	産業技術総合研究所 環境創生研究部門 環境生理生態研究グループ 上級主任研究員
野尻 幸宏	弘前大学 大学院理工学研究科 教授
外部発表者（敬称略）	
三菱重工エンジニアリング株式会社	
米川 隆仁	脱炭素事業推進室 次長
洲崎 誠	執行役員 CTO 脱炭素事業推進室長
公益財団法人 地球環境産業技術研究機構	
余語 克則	化学研究グループ 主席研究員
オブザーバー（敬称略）	
環境省	
宮岡 俊輔	地球環境局地球温暖化対策課地球温暖化対策事業室 室長補佐
経済産業省	
潮 高史	産業技術環境局環境政策課地球環境対策室 総括補佐
太田 晴信	産業技術環境局環境政策課地球環境対策室 室長補佐
日本 CCS 調査株式会社	
萩原 利幸	取締役 貯留技術部長
川端 尚志	取締役 総務部長
重信 道郎	技術企画部 グループ長
澤田 嘉弘	国際部 部長
日鉄エンジニアリング株式会社	
三室 真彦	環境・エネルギーセクター営業本部 シニアマネージャー
JFE エンジニアリング株式会社	
真弓 一雄	理事
環境省、事務局	
環境省 水・大気環境局	
山下 信	水環境課 海洋環境室 室長
堀野上 貴章	水環境課 海洋環境室 室長補佐
事務局	
後藤 浩一	KANSO テクノス 東京支店 支店長
松見 健	KANSO テクノス 環境部 水環境グループ リーダー
上田 哲大	KANSO テクノス 東京支店 技術グループ リーダー